

Ver.2.0

2016年9月9日発行

# 循環器専門医研修カリキュラム 達成度評価表



会員番号		入会年（西暦）	年
氏名 (※自署で書くこと)			

一般社団法人日本循環器学会

一般社団法人日本循環器学会認定  
**循環器専門医カリキュラム研修歴**

(医師免許取得後、研修した研修・研修関連施設)

所属期間(西暦)	施設名及び所属部科	研修施設/関連施設 のどちらかに○を してください
自 年 月 日 至 年 月 日 ( 年 ヶ月)		研修 ・ 関連
自 年 月 日 至 年 月 日 ( 年 ヶ月)		研修 ・ 関連
自 年 月 日 至 年 月 日 ( 年 ヶ月)		研修 ・ 関連
自 年 月 日 至 年 月 日 ( 年 ヶ月)		研修 ・ 関連
自 年 月 日 至 年 月 日 ( 年 ヶ月)		研修 ・ 関連
自 年 月 日 至 年 月 日 ( 年 ヶ月)		研修 ・ 関連
自 年 月 日 至 年 月 日 ( 年 ヶ月)		研修 ・ 関連
自 年 月 日 至 年 月 日 ( 年 ヶ月)		研修 ・ 関連
自 年 月 日 至 年 月 日 ( 年 ヶ月)		研修 ・ 関連
自 年 月 日 至 年 月 日 ( 年 ヶ月)		研修 ・ 関連
自 年 月 日 至 年 月 日 ( 年 ヶ月)		研修 ・ 関連
自 年 月 日 至 年 月 日 ( 年 ヶ月)		研修 ・ 関連
自 年 月 日 至 年 月 日 ( 年 ヶ月)		研修 ・ 関連
自 年 月 日 至 年 月 日 ( 年 ヶ月)		研修 ・ 関連
自 年 月 日 至 年 月 日 ( 年 ヶ月)		研修 ・ 関連

## 『循環器専門医』 医師像

循環器専門医は、心臓・血管系に関する豊富な知識と技能を有し、心筋梗塞、狭心症、高血圧、動脈硬化、弁膜症、心不全、不整脈、などの循環器疾患の適切な診断・治療及び予防ができる能力を有する。

### 【循環器専門医研修カリキュラム達成度評価表チェックについて】

「循環器専門医」の受験をご希望の場合は、次ページ以降に定める日本循環器学会認定循環器専門医研修カリキュラムに基づく研修を循環器学会指定研修施設または関連施設にて受験申請までに行っていただくことが必須となっております。

循環器専門医研修カリキュラムのチェック手順については下記のとおりです。

- ① HP より、研修カリキュラム達成度評価表をダウンロードする。
- ② ダウンロードした研修カリキュラム達成度評価表の内容に沿って、項目ごと研修修了ごとに、達成目標レベル※1 に達成しているかどうかの自己評価を記入し、循環器専門医である指導医と面談の上、指導医評価欄に達成していれば○、していなければ×を記入し、指導医捺印欄に捺印と専門医番号の記入を依頼する。
- ③ Ⅲ. 病態・疾患各論では、主要疾患について経験すべき症例数を示している（達成目標）。自身の経験症例達成数を記入する。症例数が目標に達した時点で、指導医が各症例のサマリーを確認後、捺印と専門医番号の記入をする。
- ④ 指導医捺印を1つでも押した先生は、必ずカリキュラム達成度評価表最後のページにある「指導医署名欄」の各記入欄に記入し、前ページまでの指導医捺印と同一の印で捺印する。
- ⑤ 全ての研修が修了したら、カリキュラム達成度評価表最後のページにある「指導責任者署名欄」に指導責任者※2 の署名および印鑑の捺印を依頼する。

※2 研修した最終の研修・研修関連施設の教授、院長、部長等（循環器専門医）

達成目標 ※1	検査法および治療法	病態および疾患各論
A	独立して、施行または判定できる。	主治医として経験する。
B	指導者の下で、施行または判定できる。	指導者の下で経験する。
C	施行できない場合、見学する。	経験がない場合、見学する。
D	経験しなくても十分な知識を有する。	経験しなくても十分な知識を有する。

このカリキュラム達成度評価表は、受験申請の際にご提出いただきますので、それまで大切に保管してください。責任者の捺印後の評価表を紛失・喪失された場合には、もう一度最初から研修し直しとなることもございますので、保管には十分にご注意ください。

# 学会参加・発表記録

医師免許取得後、学会\*に参加および発表した歴を下記の一覧に記入してください。  
発表は、筆頭演者となった発表に限ります。共同演者は不可とします。

\*日本循環器学会学術集会と地方会への参加および発表に限る。

	発表学会 (参加/発表に○を、発表の場合は両方に○をつけてください。)	発表/参加 年月日	発表タイトル (発表者のみ記入)
1	( 参加 / 発表 )		
2	( 参加 / 発表 )		
3	( 参加 / 発表 )		
4	( 参加 / 発表 )		
5	( 参加 / 発表 )		
6	( 参加 / 発表 )		
7	( 参加 / 発表 )		
8	( 参加 / 発表 )		
9	( 参加 / 発表 )		
10	( 参加 / 発表 )		

# 学術誌論文掲載記録

医師免許取得後、学術誌\*へ投稿し、掲載された歴を下記の一覧に記入してください。  
筆頭著者となった論文に限ります。

\*査読制度のある学術誌で掲載された論文に限る。

	雑誌名	掲載年月日 (巻、号、 頁)	掲載論文タイトル
1			
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			

達成目標	検査法および治療法
A	独立して，施行または判定できる。
B	指導者の下で，施行または判定できる。
C	施行できない場合，見学する。
D	経験しなくても十分な知識を有する。

※  網掛け部分は必ず記入すること。

※ 指導医捺印を1つでも押された先生は、必ず  
最終ページの【指導医署名欄】に記入・捺印のこと。

研修項目	達成目標	症例達成数	自己評価 達成：○ 未達成：×	指導者評価 達成：○ 未達成：×	指導医捺印(専門医番号) <small>専Noは上段と同じ場合 必ず「カ」を記入の上、省略可 捺印は省略不可</small>
<b>I. 検査法</b>					
1. 身体所見（聴診等）	A				(専No. )
2. X線診断					
a. 胸部単純X線撮影	A				(専No. )
b. 心血管造影					
1) 左室造影	B				(専No. )
2) 大動脈造影	B				(専No. )
3) 冠動脈造影	B				(専No. )
4) 右心系造影	B				(専No. )
c. X線CT (computerized tomography)	B				(専No. )
3. 心電図					
a. 標準12誘導心電図	A				(専No. )
b. 運動負荷心電図	A				(専No. )
c. ホルター心電図記録	A				(専No. )
d. 加算平均心電図	C				(専No. )
e. 心臓電気生理学的検査	B				(専No. )
f. ヘッドアップチルト試験	D				(専No. )
4. 末梢動脈検査（ABI）	B				(専No. )
5. 超音波検査					
a. 経胸壁エコー図	A				(専No. )
b. 経食道心エコー図	B				(専No. )
c. 頸動脈エコー図	B				(専No. )
d. 末梢動静脈エコー図	C				(専No. )

達成目標	検査法および治療法
A	独立して，施行または判定できる。
B	指導者の下で，施行または判定できる。
C	施行できない場合，見学する。
D	経験しなくても十分な知識を有する。

※  網掛け部分は必ず記入すること。

※ 指導医捺印を1つでも押された先生は、必ず  
最終ページの【指導医署名欄】に記入・捺印のこと。

研修項目	達成目標	症例達成数	自己評価 達成：○ 未達成：×	指導者評価 達成：○ 未達成：×	指導医捺印(専門医番号) <small>専Noは上段と同じ場合 必ず「カ」を記入の上、省略可 捺印は省略不可</small>
6. カテーテル検査					
a. スワン・ガンツカテーテル検査	A				(専No. )
b. 心(左・右)カテーテル検査	B				(専No. )
c. 心筋生検	C				(専No. )
d. 血管内エコー(IVUS)	C				(専No. )
7. 心拍出量	B				(専No. )
8. 動・静脈圧(モニタ)	A				(専No. )
9. 心臓核医学検査					
a. 心筋シンチグラフィ (血流・代謝)	B				(専No. )
b. 肺血流シンチ	D				(専No. )
10. 心臓MRI (magnetic resonance imaging)	B				(専No. )
11. 高血圧検査					
a. 眼底検査	A				(専No. )
b. 腎動脈造影	B				(専No. )
c. 24時間血圧測定	B				(専No. )
12. 睡眠時ポリグラフ	D				(専No. )

達成目標	検査法および治療法
A	独立して，施行または判定できる。
B	指導者の下で，施行または判定できる。
C	施行できない場合，見学する。
D	経験しなくても十分な知識を有する。

※  網掛け部分は必ず記入すること。

※ 指導医捺印を1つでも押された先生は、必ず  
最終ページの【指導医署名欄】に記入・捺印のこと。

研修項目	達成目標	症例達成数	自己評価 達成：○ 未達成：×	指導者評価 達成：○ 未達成：×	指導医捺印(専門医番号) <small>専Noは上段と同じ場合 必ず「カ」を記入の上、省略可 捺印は省略不可</small>
<b>Ⅱ. 治療法</b>					
1. 一般的事項					
a. 薬物動態・血中濃度	A				(専No. )
b. 薬物効果・副作用	A				(専No. )
c. 食事療法	A				(専No. )
d. 禁煙指導	A				(専No. )
e. リハビリテーション・運動療法	A				(専No. )
f. 手術適応	A				(専No. )
2. 救急処置					
a. 救急蘇生法 (BLS・ALS)	A				(専No. )
b. 心膜穿刺術	B				(専No. )
c. 一時ペーシング (体外的も含めて)	A				(専No. )
d. 大動脈内バルーンパンピング (IABP)	B				(専No. )
e. 心肺補助装置 (PCPS)	C				(専No. )
3. 薬物治療					
a. 強心薬	A				(専No. )
b. 利尿薬	A				(専No. )
c. 抗不整脈薬	A				(専No. )
d. 血管拡張薬	A				(専No. )
e. 降圧薬	A				(専No. )
f. 昇圧薬	A				(専No. )
g. 自律神経薬	A				(専No. )

達成目標	検査法および治療法
A	独立して，施行または判定できる。
B	指導者の下で，施行または判定できる。
C	施行できない場合，見学する。
D	経験しなくても十分な知識を有する。

※  網掛け部分は必ず記入すること。

※ 指導医捺印を1つでも押された先生は、必ず  
最終ページの【指導医署名欄】に記入・捺印のこと。

研修項目	達成目標	症例達成数	自己評価 達成：○ 未達成：×	指導者評価 達成：○ 未達成：×	指導医捺印(専門医番号) <small>専Noは上段と同じ場合 必ず「カ」を記入の上、省略可 捺印は省略不可</small>
h. 抗凝固薬・抗血小板薬	A	/			(専No. )
I. 血栓溶解薬	A	/			(専No. )
j. 脂質代謝改善薬	A	/			(専No. )
k. 抗生物質	A	/			(専No. )
l. 経口糖尿病薬	A	/			(専No. )
m. 肺高血圧治療薬	C	/			(専No. )
4. 植込み型ペースメーカー	B	/			(専No. )
5. 植込み型除細動器 (ICD)	C	/			(専No. )
6. 心臓再同期療法 (CRT)	C	/			(専No. )
7. 経皮的冠インターベンション(PCI)	B	/			(専No. )
8. 血液透析・腹膜透析	B	/			(専No. )
9. カテーテルアブレーション	C	/			(専No. )
10. 心臓手術					
a. 冠動脈バイパス手術	C	/			(専No. )
b. 弁置換・形成術	C	/			(専No. )
c. 大動脈グラフト術	C	/			(専No. )

達成目標	病態および疾患各論
A	主治医として経験する。
B	指導者の下で経験する。
C	経験がない場合、見学する。
D	経験しなくても十分な知識を有する。

※  網掛け部分は必ず記入すること。

※ 指導医捺印を1つでも押された先生は、必ず  
最終ページの【指導医署名欄】に記入・捺印のこと。

研修項目	達成目標	症例達成数	自己評価 達成：○ 未達成：×	指導者評価 達成：○ 未達成：×	指導医捺印(専門医番号) <small>専Noは上段と同じ場合 必ず「カ」を記入の上、省略可 捺印は省略不可</small>
<b>Ⅲ. 病態・疾患各論</b>					
1. 心不全 (10症例以上)					(専No. )
a. 右心不全	A				(専No. )
b. 左心不全	A				(専No. )
c. 両心不全	A				(専No. )
2. ショック (5症例以上)					(専No. )
a. 心原性ショック	A				(専No. )
b. 神経原性ショック	A				(専No. )
c. 出血性ショック	A				(専No. )
d. 細菌性ショック	B				(専No. )
3. 不整脈 (10症例以上)					(専No. )
a. 頻脈性不整脈					
1) 期外収縮 (上室・心室)	A				(専No. )
2) 頻拍 (上室・心室)	A				(専No. )
3) 心房粗動	A				(専No. )
4) 心房細動	A				(専No. )
5) 心室細動	A				(専No. )
b. 徐脈性不整脈					
1) 洞不全症候群	A				(専No. )
2) 房室ブロック	A				(専No. )
c. 心室内伝導異常					
1) 脚ブロック	A				(専No. )
2) 二枝ブロック・分枝ブロック	A				(専No. )
3) WPW症候群	A				(専No. )

達成目標	病態および疾患各論
A	主治医として経験する。
B	指導者の下で経験する。
C	経験がない場合、見学する。
D	経験しなくても十分な知識を有する。

※  網掛け部分は必ず記入すること。

※ 指導医捺印を1つでも押された先生は、必ず  
最終ページの【指導医署名欄】に記入・捺印のこと。

研修項目	達成目標	症例達成数	自己評価 達成：○ 未達成：×	指導者評価 達成：○ 未達成：×	指導医捺印(専門医番号) <small>専Noは上段と同じ場合 必ず「カ」を記入の上、省略可 捺印は省略不可</small>
d. その他					
1) アダムス・ストークス症候群	A				(専No. )
2) QT延長症候群	B				(専No. )
3) 人工ペースメーカーに伴う不整脈	B				(専No. )
4) 特発性心室細動 (Brugada症候群など)	C				(専No. )
4. 血圧異常 (10症例以上)					(専No. )
a. 本態性高血圧	A				(専No. )
b. 二次性高血圧	A				(専No. )
5. 虚血性心疾患 (10症例以上)					(専No. )
a. 安定労作狭心症	A				(専No. )
b. 冠攣縮性狭心症	A				(専No. )
c. 急性冠症候群					
1) 不安定狭心症	A				(専No. )
2) 急性心筋梗塞	A				(専No. )
d. 心筋梗塞に伴う合併症					
1) 心室瘤	B				(専No. )
2) 心臓破裂	B				(専No. )
3) 心室中隔穿孔	B				(専No. )
e. 陳旧性心筋梗塞	A				(専No. )
f. 無痛性虚血性心疾患	A				(専No. )

達成目標	病態および疾患各論
A	主治医として経験する。
B	指導者の下で経験する。
C	経験がない場合、見学する。
D	経験しなくても十分な知識を有する。

※  網掛け部分は必ず記入すること。

※ 指導医捺印を1つでも押された先生は、必ず  
最終ページの【指導医署名欄】に記入・捺印のこと。

研修項目	達成目標	症例達成数	自己評価 達成：○ 未達成：×	指導者評価 達成：○ 未達成：×	指導医捺印(専門医番号) <small>専Noは上段と同じ場合 必ず「カ」を記入の上、省略可 捺印は省略不可</small>
6. 弁膜疾患 (10症例以上)					(専No. )
a. 僧帽弁狭窄	B				(専No. )
b. 僧帽弁閉鎖不全	A				(専No. )
1) 僧帽弁逸脱	A				(専No. )
a. 大動脈弁狭窄	A				(専No. )
b. 大動脈弁閉鎖不全	A				(専No. )
c. 三尖弁閉鎖不全	A				(専No. )
7. 心筋疾患 (5症例以上)					(専No. )
a. 心筋炎	A				(専No. )
b. 心筋症					
1) 肥大型心筋症	A				(専No. )
2) 拡張型心筋症	A				(専No. )
3) 催不整脈性右室心筋症	C				(専No. )
4) たこつぼ心筋症	C				(専No. )
c. 特定心筋疾患					
1) アミロイドーシス	C				(専No. )
2) サルコイドーシス	C				(専No. )
8. 感染性心内膜炎	A				(専No. )
9. 心膜疾患					
a. 急性心膜炎	A				(専No. )
b. 収縮性心膜炎	B				(専No. )
c. 心タンポナーデ	B				(専No. )

達成目標	病態および疾患各論
A	主治医として経験する。
B	指導者の下で経験する。
C	経験がない場合、見学する。
D	経験しなくても十分な知識を有する。

※  網掛け部分は必ず記入すること。

※ 指導医捺印を1つでも押された先生は、必ず  
最終ページの【指導医署名欄】に記入・捺印のこと。

研修項目	達成目標	症例達成数	自己評価 達成：○ 未達成：×	指導者評価 達成：○ 未達成：×	指導医捺印(専門医番号) <small>専Noは上段と同じ場合 必ず「カ」を記入の上、省略可 捺印は省略不可</small>
10. 心臓腫瘍					
a. 粘液腫	B				(専No. )
11. 肺性心疾患					
a. 肺血栓塞栓	A				(専No. )
b. 肺高血圧 (特発性肺動脈高血圧など)	A				(専No. )
12. 先天性心血管疾患 (3症例以上)					
a. 心房中隔欠損	A				(専No. )
b. 心室中隔欠損	A				(専No. )
13. 全身疾患に伴う心血管異常					
a. 甲状腺機能低下	A				(専No. )
b. 腎不全 (急性・慢性)	A				(専No. )
c. 糖尿病	A				(専No. )
d. 脂質代謝異常	A				(専No. )
e. 膠原病	A				(専No. )
14. 大動脈疾患					
a. 大動脈瘤	A				(専No. )
b. 大動脈解離	A				(専No. )
c. 大動脈炎症候群 (高安病)	B				(専No. )
d. 大動脈弁輪拡張 (Marfan症候群を含む)	B				(専No. )

達成目標	病態および疾患各論
A	主治医として経験する。
B	指導者の下で経験する。
C	経験がない場合、見学する。
D	経験しなくても十分な知識を有する。

※  網掛け部分は必ず記入すること。

※ 指導医捺印を1つでも押された先生は、必ず最終ページの【指導医署名欄】に記入・捺印のこと。

研修項目	達成目標	症例達成数	自己評価 達成：○ 未達成：×	指導者評価 達成：○ 未達成：×	指導医捺印(専門医番号) <small>専Noは上段と同じ場合 必ず「カ」を記入の上、省略可 捺印は省略不可</small>
15. 脳血管障害 (脳出血, 脳梗塞)	A				(専No. )
16. 末梢動脈疾患					
a. 閉塞性動脈硬化	A				(専No. )
17. 静脈・リンパ管疾患					
b. 血栓性静脈炎・深部静脈血栓症	A				(専No. )
18. 失神 (3症例以上)					(専No. )
a. 神経調節性失神	A				(専No. )
b. 心原性失神	A				(専No. )

研修項目	達成目標	症例達成数	自己評価 達成：○ 未達成：×	指導者評価 達成：○ 未達成：×	指導医捺印(専門医番号)
<b>IV. 医療倫理・他</b>					
1. 医療倫理※1	A				(専No. )

※1 医療倫理・安全に関する講演会・研修会への参加。本学会主催に限定せず、他学会・研究会主催のもの、研修または研修関連施設で実施されたものも認める。

## 【 指導医署名欄 】

「指導医捺印」を1つでも押した先生は、必ず各記入欄に記入・前ページまでの「指導医捺印」と同一の印で捺印のこと。指導医の所属先や役職が現在のものと異なる場合、研修当時の所属先・役職を記入の上、(当時)と記載すること。

所属先・役職	専門医番号	指導医署名欄
		印
所属先・役職	専門医番号	指導医署名欄
		印
所属先・役職	専門医番号	指導医署名欄
		印
所属先・役職	専門医番号	指導医署名欄
		印
所属先・役職	専門医番号	指導医署名欄
		印
所属先・役職	専門医番号	指導医署名欄
		印
所属先・役職	専門医番号	指導医署名欄
		印

## 【 指導責任者署名欄 】※2

本循環器専門医研修カリキュラム達成度評価表の記載内容に誤りがないことを証明します。

所属先・役職	専門医番号	指導責任者署名欄
		印

※2 責任者は、申請者が研修した最終の研修・研修関連施設の教授、院長、部長等（循環器専門医）とする。指導医の所属先や役職が現在のものと異なる場合、研修当時の所属先・役職を記入の上、(当時)と記載すること。